



TOHOKU  
UNIVERSITY

## 東北大学 災害科学国際研究所

International Research Institute of Disaster Science  
TOHOKU UNIVERSITY

みなさま日頃から大変お世話になっております。東北大学の岩田司です。

私は今年度で退職となりますが、学生時代から建築研究所を経て現在まで40年間、一貫して「地域住宅計画(HOPE計画)」に関する実践、研究を行ってまいりました。今回その「住まいづくりとまちづくりの地域性とは何か?」という大きなテーマで初めての公開講座に挑戦します。

住まいづくり、まちづくりは皆さんにとっても大変身近な話題です。また住まいづくりは「誰でもできるが、誰にもできない」とも言われるように奥深いものです。

当日はHOPE計画を実践、研究してきた若手をそろえ、皆さんからの質問を受け付ける体制も準備いたします。是非ご参加ください。併せてご関係者のみなさまにもご案内いただけますと幸甚です。

### 住まいづくりとまちづくり その地域性とは? —HOPE計画の40年—

地域自らが考え、地域の住文化に根ざした住まい・まちづくりを推進するために1983年に国土交通省(当時建設省)住宅局の補助事業として地域住宅計画=HOPE計画が創設され、多くの地方自治体が計画を策定、実施してきた。

以来40年近く、地域自らが、地域の人・物・技術の活用によって、個性ある地域の実現による活性化や持続可能な社会の実現を目指した。そしてこれら一連の考え方は、地域別省エネ基準、そして地域型復興住宅建設と、様々な住まい・まちづくりのフェーズで用いられ、現在の住まい・まちづくり手法には必要不可欠なものとなった。

では実際その「地域性」とは何だったのだろうか?

これまでの、そしてこれからの我が国の住まい・まちづくりのあり方を見据えながら、この「地域性」とは何かを改めて展望する。

- ・ 開催日時:令和4年8月6日(土)13:00 ~ 16:30
- ・ 開催場所:オンライン(接続先は申し込み者に前日までに別途連絡)
- ・ 参加定員:200名
- ・ 参加費用:¥1,000(要事前申込み)
- ・ 参加申込先:下記URLより詳細をご確認の上、お申し込みください

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/media/files/pdf/edu/grad/lec08.pdf>



東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 空間デザイン戦略研究分野  
Spatial Design Strategies Lab, Disaster Humanities and Social Science Division,  
International Research Institute of Disaster Science, TOHOKU UNIVERSITY  
〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1, Aoba 468-1, Aramaki Aoba-ku SENDAI, JAPAN  
telephone.022-752-2135 facsimile.022-752-2136 e-mail:iwata@tohoku.ac.jp